

夏休みにおける少年の非行防止と犯罪被害防止について

学校の夏休み期間は、保護者や大人の目が届かない時間が増えることなどから、子供達の行動パターンが変わって、いつもはしない不良行為をしたり、インターネットやSNSの利用などに起因する犯罪被害の増加なども懸念されます。

m(_ _)m《保護者の方へのお願い》m(_ _)m

○薬物の乱用防止について

近年、大麻の乱用で検挙される高校生や有職、無職少年が増えています。多くは、友人や先輩などから紹介され、興味本位で始めるケースが多いようです。軽い気持ちで手を出さないよう、普段から家族の会話の中で、正しい知識と恐ろしさを教え、しっかりと理解させましょう。



○子供が万引きをしてしまったら

万引きは非行の入口と言われており、そのままにしていると非行が急速に進むおそれがあります。もしもお子さんが万引きをしてしまった場合には、理由や原因をしっかりと聞いた上で、何が悪かったのかを理解させ、心から反省を促すように努めましょう。



○スマートフォン、インターネットなどの利用について

子供達がインターネット利用時にトラブルや犯罪被害に遭うケースが後を絶ちません。お子さんが使用するスマートフォンなどには、必ず「フィルタリング」を設定し、有害情報などにアクセスできないようにしましょう。また、日頃からお子さんにインターネットの危険性を教えたり、家族で話し合って「ネット利用のルール」（利用時間、個人情報などを載せない。ネットで知り合った人と会わないなど）を作りましょう。



○不安なことがあったら、一人で悩まずに 家族や警察に相談しましょう。

少年に関する悩みごと、困りごとは

○ヤングテレフォン なやむな

099-252-7867

○ヤングメール

kp-youngmail@police.pref.kagoshima.jp

にご相談ください。



夏休みにおける水難事故の防止



夏休みは、海や川等の自然と接する機会が増えることに伴い、水難事故が多発します。水難事故を防ぐには事前の天候情報の確認、海や川等の自然環境の理解が大切です。また、棄権な行為等に関する知識を持つことも大切です。水難事故も無く、楽しい夏休みを過ごすためにも以下の点に注意しましょう。

1. ライフジャケットの着用
2. 常に天候や波の状況などを確認する
3. 子どもから絶対に目を離さない
4. 飲酒状態で魚釣り等はしない

